

No.268



青森県理学療法士会ニュース

第34回 日本理学療法士協会総会並びに代議員会報告

日 時 平成17年5月25日 13:00～18:25
 場 所 グランキューブ大阪国際会議場12階特別会議場
 案 件 総会資料参照
 出 席 伊藤和夫、相馬光明

会議は定刻の13時から開始されました。日下副会長の開会の言葉の後、中谷会長の挨拶がなされました。最初に新潟や福岡の地震のお見舞いが述べられました。その後「15年度の組織改正後、16年から17年度にかけては、教育、学術、社会、広報、生涯学習などにわたり新たな組織での課題の検討、そしてこの間、教育水準、PTの専従、参与、厚生労働省社会援護局への派遣その他課題が継続しているとのことでした。今期で任務の終了し、新たな体制で17、18年度につないでいきたい、実りある会議であっていただきたい。」と結びました。

恒例の協会賞授賞式のあと、今年は理事選挙の年であり、選管から会長選の立会演説会の案内があり、中谷氏、半田氏の両候補者が各々約10分間演説しました。この模様はビデオ撮影され、翌26日投票所前で一日中放映されました。

13時40分、代議員118名、総会参加者約195名、他は委任状で総会の成立が報告されました。議長は陣内（神奈川）、石井（静岡）両氏が選出されました。続いて議事に入り、中谷会長の事業報告がなされました。資料P7の総括報告を番号順に説明（ほぼ棒読みか）されました。最後に、政策を提起できる事業を検討したいと話しておりました。続いて決算報告が丸山事務局長からなされ、監査報告は福田監事から報告されました。

次に、質疑応答の主な概略を以下に紹介いたします（カッコ内は答弁内容）。
 ・繰越金が8000万余りもある
 ・援助金を増額して頂きたい（旅費等も徐々に支給していく）
 ・支出一覧の備考欄が空白だが（P75に注記記載）
 ・研修会収入別にしているが
 ・財産管理で銀行のペイオフ時の対応は
 ・未収金の内訳について（P79-80）
 ・学術誌の未払い金は

・WCPTいつまで未収とす
 るのか、タイムリミットは
 ・P28の法規委員会、具体的な活動内容は
 ・予算では繰越金4,000万が、決算では8,000万である、その理由は
 等でした。質疑は以上で拍手承認されました。

続いて総会に移り、同じく質疑は、
 ・収入の監査の方法について
 ・業務推進部はマイナス300万の支出であるが
 ・介護予防ヒアリングの政党名に自民党と明記されているが（案内を頂いたので、よく頂くのは自民党である、意見を述べただけ、介護予防の政策を説明した、今後政党名は出さない意向）等の意見が出されました。

次期学術大会長と名誉会員（名誉会員の略歴は各県士会事務局に送付とのこと）の承認がされ、第41回群馬大会の内山靖大会長の挨拶がありました。今、学術大会林大会長の挨拶もなされました（順序が逆に）。

士会提案議題での質疑について以下、同様に概略を紹介いたします。
 ・介護予防研修について、今後はどのようにして行くつもりなのか
 ・最後の市町村段階ではPTは不足が現状である（トータルにPTのあり方の検討、確かに市町村はPT少ない、ハード面や市町村ポストとして起案できる立場に）
 ・効果判定の指標
 ・市町村へのアピールや国民用パンフレット作成
 ・日医との協力関係
 ・訪問リハについて（担当者との関わり、住み分け、役割など）（訪問リハステーション、各県士会からも厚生労働省に要望して頂きたい）
 ・リハステーションはかなり厳しいのではないかと（念願であるがかなり大変では）
 ・何かスローガンのキャンペーンを、ほとんど議事録は読まれていない
 ・職能局の役割
 ・全国研修会の名称は
 ・今年も養成校が14校、来年18校で計約30校増える
 ・協会推薦の実習などの検討（参考にしたい、実習生を3万人の会員で実施している、実

習の手引きの中のマンツーマンの見直し等要検討)・協会主導型の例として学生が試験を受けてから実習に入る方法などは・EBPTの方法は(と
りあえずエビデンスを貯めていく、外部に公開して
いく、世界的に並行した形で)・学術大会のあり
方について(44回?大会以降は専門分野別の検
討)・疫学のプロに依頼する、教育のプロや倫理
(患者と養成校と契約)・委託答申を受ける
方法はどうか・学術助成など予算の使い方の工
夫・参与の活動報告はあるが・会長は理事か
どうか(会長立候補者は同時に理事立候補者とは
ならない)・各種委員会会議参加者の旅費等の支
給・選挙方法、IT化の検討・協会としての法人
の取得、支援の仕方(要望)(協会としてはNP
0、中間法人いずれの法人でも良いと考える、制
度改正があるので推移を見てから決める方法もあ
る、それぞれの士会で取得しやすい形で良い)
・届出制は、国、県、どちらの情報か?社団、中
間、2006年の協会の方針は、その情報は 等多く
の意見が出されました。以上、かなり単語の羅列
で理解困難な報告と思いますが、質疑の内容につ
いて多少ともお伝えできたでしょうか?(詳細は
理学療法学会にJPTAニュースとして掲載されます)
17年度事業計画と予算については、16時50分時
点で提案報告され、承認されました。最後に会員
証のカード化、この問題にかなりの時間を要しま

した。個人情報、信販会社の提携理由の質疑が出
されました。資料P115に5つの理由が説明されて
います。また、会館建設基金を今だ継続徴収して
いることへの質疑に対し、現在はその計画はない
答弁がされました。会員からは、いずれの課題も
きちんとした見通しに立った計画、説明をすべき
との意見、要望が出されました。最後に、05年4
月1日法人取得したことが長野県士会から報告さ
れました。OTと同時に認可、約10年越しの実現と
のことでした。新潟県士会からは義援金のお礼の
言葉がありました。以上で総会は18時25分に終了
いたしました。

感想としては、昨年も同様に述べましたが、こ
こ数年間まさに超急激な会員の増大とそれに伴う
事業展開が今、協会に求められています(士会で
も同じことですが)。反面、医療情勢は明らかに
国民医療費抑制政策であり、リハビリテーション
の継続は介護保険へと移っていきます。介護保険
は現在国会でも審議中であり、平成18年度の新た
な事業や報酬の体系、加えて診療報酬改定と国政
の課題となっています。問われているのは職能団
体もさることながら、自らの行動、仕事、技術、
力量など、PTは何ができるのか、国民へ還元でき
る内容とその理解の浸透、拡充ではないかと考え
るものです。

新入会員紹介(中弘南黒・西北五地区)

健生病院 平泉智香

はじめまして、健生病院の平泉智香です。弘前
大学出身で、生まれと育ちは東京都です。大学で
青森に来て、そのまま住み着いてしまいました
... 青森は自然が多く、息抜きをしに行く場所が
たくさんある所が好きです。週末にドライブをし
て、温泉に入りに行くことが楽しみです。働き始
めて二ヵ月がたち職場に少し慣れてきましたが、
まだまだわからないことが多く、日々勉強です。
これからいろいろとお世話になると思います。ご
指導、よろしくお願いします。

健生病院 佐藤文勇

健生病院の新人PTの佐藤文勇です。出身地は弘前
市です。出身校は千葉医療福祉専門学校です。好

きな食物はミートソース、好きなスポーツは野球
とスノボです。まだまだ未熟な僕ですがどうぞよ
ろしくお願いします。

健生病院 小山内大隆

初めまして。四月から健生病院で働いています、
小山内大隆です。出身地は岩木町、出身校は東北
文化学園大学です。好きな食物はラーメンです。
弘前周辺のラーメン屋はかなり行ってます。これ
から頑張っていくので、皆さんよろしくお願いします。

黎明郷リハビリテーション病院 木村護郎

初めまして、4月より黎明郷リハビリテーショ
ン病院に勤務しています木村護郎と申します。自

己紹介をしたいと思います。青森県田舎館村出身です。出身大学は秋田大学医療技術短期大学部です。社会人から学生となり若者の間に紛れて勉強してきました。アットホームな黎明郷スタッフの中でボケを毎日演じ、リアクションの大きさに笑いを誘っています。

無駄な人生経験が長いので患者との話題に少し役立てられればなと思っています。趣味は海外旅行、外国語（露語と独語）の勉強、心理学（臨床心理学）です。海外旅行はもうできませんが、いろいろな失敗から勉強になりました。ロシアとドイツ関係は少し詳しいので県士会で関心のある方がいましたらお声を掛けて下さい。

黎明郷で様々なことを勉強して患者さんの為に役立てて行きたいと思っています。将来可能ならば国際医療支援を行いたいと思っています。よろしくお願い致します。

黎明郷リハビリテーション病院 内田有美

はじめまして。黎明郷リハビリテーション病院の内田有美です。弘前大学出身です。生まれも育ちも青森県八戸市の22歳です。今年の目標は「アクティブになること！！」ですが、大学時代に身につけてしまった出無精のせいで、達成できずすでに心配です。夏は海でバーベキュー、冬はボードに明け暮れたいと思っていますので、一緒に遊んでくれる方を大募集します。

わからない事だらけではありますが、日々悩みながら学び、成長していきたいと思っていますので、ご指導のほどよろしくお願ひします。

黎明郷リハビリテーション病院 高松顕子

はじめまして。三沢市出身の新人PTの高松顕子です。大学は昨年ニュースでお目にかかることが多かった東北文化学園大学（仙台）を無事に卒業し、大好きな青森県へ戻って参りました。現在、寮に入っており、ここ最近はお外食に出かける回数も増えて同僚と日々の悩みなどを語り合い、たらくく食い合い、毎日を乗り切っています。

実習でもお世話になった憧れの黎明郷リハビリテーション病院で少しずつでも一日一日知識や技術を勉強して成長できるよう頑張ります。多々迷惑かけることがあると思いますがご指導よろしくお願ひいたします。

黎明郷リハビリテーション病院 佐々木陽子

はじめまして、黎明郷リハビリテーション病院の佐々木陽子です。

出身は青森市で、青森県立保健大学出身です。

ずっと実家暮らしでしたが、このたび碓ヶ関村の村民となりました。初めての一人暮らし（寮ですが）、初めのうちは張り切っていたのですが、そんな張り切りは1週間程度で終了し、その後自堕落な生活を送っています。気が付くとほとんど週末は実家に帰っており、実家の両親・妹にはだんだんと歓迎されなくなってきました。ちなみに青森までの車中BGMは山口百恵です。車を運転するようになって、熱唱しながらの運転の楽しさを知りました。

これからたくさんご迷惑をおかけすると思いますが、精一杯頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願ひ致します。

黎明郷リハビリテーション病院 三橋昌子

はじめまして、三橋昌子と申します。出身は青森市で、出身校は仙台医療技術専門学校夜間課程です。一回生だったため夜間の先輩もおらず、先生方も探り探りの授業進行だったため、先行きの見えない4年間を過ごしました。就職先は仙台にするか、青森に帰ってくるか最後まで悩みましたが、去年宮城県沖地震の確率が上がったので、青森に帰ってくることにしました。今は病院の寮に住んでおり、虫達と仲良く暮らしております。特技は以前ウエイトレスのアルバイトをしていて、お皿を一度に3～4枚持てるので、食べ放題のお店に行った時は他の人の1.5～2倍持ってくる事ができる事です。

まだまだ分からない事だらけで、ご迷惑をかけることも多々あると思いますが、頑張っていこうと思いますので、ご指導の程よろしくお願ひします。

弘前大学医学部保健学科 吉田英樹

青森県士会の皆様、はじめまして。私は、今年4月から弘前大学医学部保健学科理学療法学専攻に勤務することとなりました吉田英樹と申します。出身地は北海道（函館）で、前職は北海道の理学療法士養成校（北海道千歳リハビリテーション学院）で2年間教員をしておりました。職場及び生活環境の変化にまだ十分適応できず、戸惑うことしばしばという毎日を送っておりますが、精一杯努力しようと思っています。皆様には色々とお世話になることもあると思いますが、宜しくお願ひ申し上げます。

弘前大学医学部附属病院 小池友和

はじめまして、4月から弘前大学医学部附属病院で勤務している小池友和です。出身は神奈川県。

青森まで夜行バス片道10時間かけて神奈川から飛び出してきました。

病院での勤務は学生時代の臨床実習とは一味も二味も違うため、四苦八苦しています。理学療法士としてまだまだ未熟ですが、経験を重ねて一步一步成長していきたいと思います。今後とも宜しくお願い致します。

国立病院機構 青森病院 前田千尋

はじめまして。国立病院機構青森病院の前田千尋です。この春に弘前大学を卒業し、めでたく社会人となりました。

実家から職場まで徒歩15分足らずの距離を、車で3分かけて毎朝せせと通勤しております。こんな面倒くさがるの私ですが、わざわざ早起きして朝野球観戦に出かけるほどの野球好きです。野球人はみんな素敵です。

最近のマイブームは今さらながらカスピ海ヨーグルト。おかげで体の調子はすこぶる快調です。この健康な体を保ちつつPTとして成長していけるよう頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。

ときわ会病院 北澤功圭

はじめまして。ときわ会病院の北澤功圭です。青森県つがる市(旧車力村)の出身、根っからのツガリアンです。

近況を報告しますと、職場の新人が女性ばかりなので、かなり肩身の狭い思いをしています。これから徐々に勢力を拡大していきたいと考えています。3年計画くらいで。

まだまだ慣れないことばかりでパニックの毎日ですが、自分なりの精一杯で頑張っていきたいと思えます。皆様、ご指導・ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。

ときわ会病院 葛西奈菜子

はじめまして、ときわ会病院の葛西奈菜子です。青森県立保健大学を卒業し、現在青森市にある実家から車で50分かけて通勤する毎日です。

在学中に臨床実習でお世話になったこの病院に就職し、まだ慣れないことも多いために毎日疲れっぱなしですが、今後も精一杯頑張っていきたいです。近々に職場に近い所に引っ越して、人生初の一人暮らしをする予定なので、仕事と生活をうまく両立させていきたいと思えます。

これから皆様にお世話になることと思えますが、

ご指導・ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。

ときわ会病院 森田みゆき

はじめまして。ときわ会病院の森田みゆきです。埼玉県出身の 歳です。某製薬会社のOLを辞め、弘前大学医学部保健学科に入学、そして無事卒業し、念願の理学療法士になることができました。

青森県に来て早4年が経ち、自分では「けっこう津軽弁もできるようになったな～」と思っていたのですが、働き始めてネイティブの津軽弁に圧倒されています。病院での毎日は、理学療法の知識も経験も津軽弁も日々勉強中です。今はまだ毎日の仕事をこなすことではいっぱいですが、あせらずのんびりと患者さんとともに歩いていこうと思います。

これから何かとお世話になると思いますが、皆様どうぞよろしくお願いいいたします。

ときわ会病院 山岸恵子

はじめまして。ときわ会病院の山岸恵子です。この春弘前大学を卒業し、学生時代に引き続き、弘前のアパートで一人暮らしをしています。出身は宮城県の蔵王町で、自然いっぱいのいいところで育ちました。

念願の理学療法士としてときわ会病院に勤務してから約3ヶ月...おっちょこちょいであわてんぼうの私は周りのスタッフの皆様には迷惑かけ通しますが、その度に的確にフォロー・ご指導して下さる先輩方に囲まれ、幸せだなあとつくづく思えます。同時に、成長しなければ!という思いがふつふつと湧いてきます。

これからも精一杯頑張っていきたいと思えますので、ご指導、ご鞭撻の程よろしく申し上げます。

ときわ会病院 成田知佳

はじめまして。ときわ会病院、新PTの成田知佳です。岩手リハビリテーション学院を卒業し、3年ぶりに青森に帰ってまいりました。五所川原市出身です。新車を買って1ヶ月、さっそくバンパーをぶつけたちゃかし者(おっちょこちょい)です。

理学療法士としても社会人としても分からないことばかりの私ですが、少しずつでも成長していけるよう毎日努力していきたいです。ご指導の程、どうぞよろしくお願いいいたします。

瓜田 一喜

「Jambo? お元気ですか?」私の任期も残り2ヶ月を切り、大雨季もそろそろ終わりつつあるここタンザニアより最後のお便りをお届けします。最後に何を書こうか迷ったのですが、約2年ここで過ごしてみて感じたことをお伝えしようと思います。

なんだかんだ言って、日本から遠く離れたここアフリカの大地で約2年が過ぎようとしているわけですが、正直アツという間だったなと感じています。来る前はどんなところで、自分に何ができるのか?などと不安でしたが、基本的にここでできたことというのは、日本でやってきたこととそう変わりはないものでした。当初は日本との違い(医師の診断に近いようなこともやらなければいけなかったり、やたら物やお金を求められたり、同僚達ののんびりさetc)に戸惑ったり、苛立ったりしたこともありましたが、しかし、時を経るにつれ、結局はここではそういうものなのだ割り切り、そういった中でも、自分のできることは訪れる患者に対する治療を一生懸命にやるだけだと気づきました。時にはうまく治療できずに相手に申し訳ないと思うこともあったり、少しずつでも良くなってきていることを共に喜び合ったり、そこに生まれる感情は日本でもタンザニアでも、どこにいても変わらないものだ。根本的にはヒトとヒトとの関わりであり、お互いの信頼関係をどうやって築いていくかが大切だと再確認できました。また、言葉、生まれ育った環境、人種、文化などいろいろ異なる部分はあるけれど、同じ人間であることに変わりなく、お互いの信頼関係を作っていくのに、自分の持っている技術が医療的なことばかりでなく1つのコミュニケーション手段にもなり得ると認識しました。

もう一つ大きく感じたことは、ここでは日本よりも家族のつながりが強いなと感じました。例えば、通院や入院で患者に付き添っている人が、患者の配偶者や子供だけでなく、兄弟もしくはその配偶者、時にはその兄弟の子供、友人であった

りというように、家族・知り合いの誰かが助けてくれるのです。家に帰ったとしても、こちらでは昔の日本のように大家族が多く、必ず面倒をみてくれる人が居るのです。確かに、生活は貧しいのですが、その分お互いを助け合うといった絆が強いように感じました。

また、障害者を特別視してないようにも思えます。言葉のしゃべれない人が市場で明るく働き、前日のサッカーの話題について身振り手振り、言葉にならない音を発しながら、客と冗談交じりに話している。足の不自由な人が、松葉杖で、手漕ぎ車椅子で、またはでこぼこ道を直に手で這いつくまっている。目の見えない人がいれば、地面のくぼみや道路を横切る時だけ手を貸し、声をかける。車椅子の人が段差に困っていたら、そこら辺にいる大人でも子供でも手助けする。その後は何でもなかったように自分達のやっていたことに戻り、別に誰もそれを褒めないし、助けられた方もありがたうを連発しない。すごく自然で、あっさりしている。なぜなら、ここではそれが当たり前のことだからです。こういった、障害者に対する自然な対応や、障害者というか弱者を排除せず、社会の中にひっくるめて取り込んでいく地域社会のあり方って、いいなあと感じました。

貧困や飢餓、エイズなどマイナスのイメージがあるアフリカですが、逆に日本で失われつつあるようなプラスの面も多く持っているなと感じました。

まだまだ日本から遠いと感じるでしょうが、同じ地球上にあるアフリカの様子が少しでも皆様に伝わり、またそれに興味を持って頂けたならば何よりです。

最後に、わずかな回数でしかも不定期であったにも関わらず、土会ニュースに掲載させて頂いたことを、編集委員初め土会の皆様に心より感謝致します。

それでは今度は日本でTutaonana(お会いしましょう)!

日本理学療法学会に参加して

5月27日～28日の2日間、演題発表のため第40回日本理学療法学会に参加してきました。グランキューブ大阪という立派な国際会議場での学会でした。今回私は、「人工股関節置換術（THA）術後の荷重時期に関する検討」と題し、大学時代の卒業研究を発表しました。ポスター発表でしたが、まだ経験年数1年ちょっとの私に対し、ポスター周囲に集まった大勢の経験豊富そうな先生方を前に発表するのは大変緊張しました。寄せられた質問に対し、知識や経験不足もあり上手に答えられず悔しかった、というのが発表後の感想です。

学会中は1,000題以上の演題を見ることができ、特に「骨・関節系理学療法」の分野では参考になる演題も多く大変勉強になりました。特にTHAに関して、術後2週間退院プログラムを実施している施設もあり、その早さには驚きを感じました。どのような方法でその間に筋力強化や歩行の獲得を図っているのか興味がありましたが、その発表を聞くことができず知ることができなかったのが残念でした。

今回の学会に参加し、全国区の高いレベルの話

八戸赤十字病院 岡元紗矢香

を聞いて刺激を受けたのと同時に自分の知識不足も痛感させられ、もっと多くのことを学んでいく必要性や重要性を改めて感じました。臨床に戻った今は、もう一度初心に帰り、学生時代に学んだ基礎的なところから教科書を開いたり、協会誌を見たりし、得られた知識をどう患者さんに生かせるか考えながら自分を見直しているところです。

今回全国学会に参加し、学生時代の同期の友人や教官に会うことができました。友人たちもそれぞれの病院で頑張っており、自分も負けてはいられないと励まされました。また、教官を通して九州地方の先生方とも知り合うことができ、飲みながら難しい臨床の話が語られ、そこからも刺激を受けとても楽しいひと時を過ごすことができたのも印象的でした。これも全国学会ならではの醍醐味なのかもしれません。

私は経験2年目での演題発表でしたが、いろいろと良い経験をすることができました。今回だけにとどまらず、また機会があれば学会参加や演題発表などしてみたいと思いました。是非若いうちに一度全国学会に参加することをお勧めしたいと思います。

- おしらせ -

第2回青森県理学療法士会研修会（変更）

以下のとおり研修会を開催いたします。先月のニュースよりテーマの追加による時間の変更、読み替えテーマの変更があります。お手数ですが確認をお願いします。

日時：平成17年7月10日(日) 9:30～16:10

会場：(社)公済会館 むつ市小川町1丁目1-5

むつ総合病院となります。駐車場はむつ総合病院を利用してください。無料パンチを押しますので忘れずに駐車券をお持ちください

内容：9:30～ 受付

10:00～11:30 テーマ1：「理学療法データを読む・使うためのデータ解析学 - データ・リテラシーのすすめ - 」

講師：対馬栄輝先生（弘前大学医学部保健学科理学療法学専攻）

11:30～13:00 昼食(各自で準備してください)

13:00～14:30 テーマ2：「理学療法関連事故から見た危機管理と判例解説」

講師：岩月宏泰先生（青森県立保健大学健康科学部理学療法学科）

14:40～16:10 テーマ3：「職業人としての心構え」

講師：大久留美子先生（むつ総合病院リハビリテーション科）

参加費：1テーマ毎に500円

・参加申込は特に必要ありません

この研修会は新人教育プログラム「理学療法における研究方法論」、「職業倫理・管理運営」、「PT・OT法および関係法規」および「生涯学習基礎プログラムの単位認定の対象になります。標記以外への読み替えは下記まで相談してください。（下線が変更になっていますご注意ください）

問い合わせ先：三沢市立三沢病院 リハビリテーション科 村上三四郎

〒033-0001 青森県三沢市中央町4丁目1-10

電話：0176-53-2161(内線321) FAX：0176-52-6023

e-mail：misawahpriha@yahoo.co.jp



平成17年度 青森県理学療法士会特別講習会

学術局長 村上 三四郎

研修部 佐井川 匠秀

恒例となっております、青森県士会担当の現職者講習会を下記の通り開催いたします。会員の皆様のご応募をお待ちしております。

尚、参加を希望される会員は6月末発刊予定の「理学療法学」掲載の「協会ニュースNo.235」を参照し、必要事項を記入の上往復ハガキにてお申込み下さい。

PNF - 臨床編 -

日 時：平成17年9月23日（金）～25日（日）

講 師：高橋 護（医療法人社団 芹沢病院）

会 場：青森県立保健大学

受講費：20,000円（情報交換会費、昼食代を含む）

定 員：20名（先着順）

申込先：〒030-0133 青森市雲谷字山吹93-1

（医）芙蓉会芙蓉会病院 理学療法室

佐井川 匠秀

TEL:017-738-2214 FAX:017-738-2249

E-mail：fuyo-rigaku236@fuyoukai.or.jp

尚、宿泊の斡旋などは行っておりませんのであらかじめご了承下さい。

締 切：平成17年8月19日（金）

尚、この講習会は新人教育プログラム「理学療法の専門領域」及び生涯学習プログラムの単位認定（生涯学習プログラムは2単位）対象となります。

第23回東北理学療法士学会演題募集のお知らせ

テーマ：「理学療法の行動変容」

- 行動変容プロセスの理解と臨床場面への応用 -

学会長：佐藤 浩哉

会 期：平成17年11月12日（土）～13日（日）

会 場：盛岡市民文化ホール 小ホール及び展示ホール

岩手県盛岡市盛岡駅西通二丁目9-1 TEL 019-621-5100（代）

参加費：会員 4,000円 非会員 4,000円 学生 1,000円

学会事務局：〒020-0172 岩手県岩手郡滝沢村鶴飼字狐洞1-104

滝沢中央病院リハビリテーション科

第23回東北理学療法士学会事務局

準備委員長：中嶋 奈津子

1. 応募資格

- (1) 社団法人日本理学療法士協会東北ブロック協議会会員に限ります。
- (2) 共同演者も原則として本会会員に限りますが、会員以外の共同演者のある場合は、その主体が本会会員であることが必要です。
- (3) 演題は未発表のものに限ります。
- (4) 他の学会・研究会・検討会等で口演されたものや卒業論文等を発展させて発表する場合はこの限りではありません。しかし、この場合は口演されたものや卒業論文のコピーを添付し、本文の文末にその旨を付け加えてください。

2. 応募方法

- (1) 岩手県理学療法士会ホームページ (<http://www5.ocn.ne.jp/~iwate-pt/>) の「第23回東北理学療法士学会」に準備しております「演題登録」からの応募のみとさせていただきます。
- (2) 「演題登録」より、演者氏名、希望発表形式、所属士会、会員番号、所属施設、連絡先住所及びE-mailアドレスを入力の上、送信ボタンより演題受付をお願い致します。
- (3) 複数演題発表者は一演題毎の「演題登録」をお願い致します。

3. 演題募集先

演題受付アドレス：tohoku_23th@hotmail.com

演題登録後、受付完了メールを各演者宛に送付いたします。抄録原稿作成要領に基づきMS-Wordにて作成後、演題受付アドレス宛へ添付ファイルにてご送信願います。

4. 募集期間

平成17年5月1日(日)～7月12日(火) 18:00まで

～ 理学療法士求人情報 ～

医療法人芙蓉会

職 種：理学療法士、作業療法士

勤務形態：常勤、非常勤

業務形態：訪問リハビリテーション業務

勤務時間：月～金 8:30～17:00

土(隔週) 8:30～12:30

その他：施設見学は随時受付しております。

訪問リハビリテーションに関心のある方、是非御連絡下さい。

問合せ先：青森市雲谷字山吹93-1

Tel:017-764-1815

医療法人芙蓉会 本部 事務局長 穴水明雄

財団法人鷹揚郷・腎研究所・弘前病院

募集職種：理学療法士 1名

待遇：当院規定により優遇(詳細は面接にて)

問い合わせ先：財団法人鷹揚郷・腎研究所・弘前病院

〒036-8243 弘前市小沢字山崎90

TEL:(0172)87-1221 FAX:(0172)87-1228

担当者：事務長 中西 寿生

大里脳神経リハビリテーションクリニック

募集職種：常勤理学療法士 1名

待遇：当院規定により優遇（詳細は面談にて）

当院紹介：平成16年12月1日に開院した脳神経疾患診療と外来リハビリテーションを重視する無床診療所です。訓練室は理学療法、作業療法、言語聴覚療法に対応した面積と設備となっております。意欲のある方の応募を期待しています。

応募方法：下記までお気軽にご相談ください。

〒031-0816 青森県八戸市新井田西3丁目15-15

TEL：0178-30-1112 FAX：0178-30-1600

担当：院長 大里 孝夫

株式会社コムスン

募集職種：運営・教育責任者候補

機能訓練指導員

業務内容：機能訓練指導員への教育・指導

高齢者への運動プログラムの作成・指導

応募資格：有資格者 年齢不問・新卒可

勤務地：本社（六本木ヒルズ）

東京都内（渋谷区・杉並区・世田谷区等）有料老人ホーム

応募：まずは 03-5772-7105までお電話ください。

M1501係採用担当：人財戦略室 吉川

株式会社コムスン URL：<http://www.comsn.com>

〒106-6135 東京都港区六本木6-10-1六本木ヒルズ森タワー35F

【事務局通信】

新入会員(31名)

- ・中弘南黒・西北五地区：内田有美（黎明郷リハビリテーション病院）、北沢功圭（ときわ会病院）、森田みゆき（ときわ会病院）、小山内大隆（健生病院）、高松顕子（黎明郷リハビリテーション病院）、佐藤文勇（健生病院）、三橋昌子（黎明郷リハビリテーション病院）、山岸恵子（ときわ会病院）、平泉智香（健生病院）、前田千尋（国立病院機構青森病院）、平野望（青森市民病院）、葛西奈菜子（ときわ会病院）、佐々木陽子（黎明郷リハビリテーション病院）、相馬千尋（黎明郷リハビリテーション病院）、成田知佳（ときわ会病院）、木村護郎（黎明郷リハビリテーション病院）、小池友和（弘前大学医学部附属病院）
- ・東青・むつ下北：千葉直（むつリハビリテーション病院）、富士縄透（芙蓉会病院/保健大学大学院）、米田良平（青森敬仁会病院）
- ・三八・上十三：南真貴（南郷リハビリプラザ）、中山宙（南郷リハビリプラザ）、階上弘樹（シルバー病院）、小比類巻豪（十和田東病院）、長根亨（八戸赤十字病院）、三浦潔子（八戸赤十字病院）原悠子（三沢市立三沢病院）、阿保美由紀（青森労災病院）、乙供寿里（青森労災病院）、浜谷美那子（岸原病院）、畠英里（なかざわスポーツクリニック）

転入会員(4名)

気仙裕（東通地域医療センター東通村診療所）、吉田英樹（弘前大学医学部保健学科）、坪香織（むつリハビリテーション病院）、川村志保（シルバー病院）

県内異動会員(14名)

山田瑞穂(黒石市国保黒石病院)、渡邊文郎(青森ナシグライ)、二木勝(大間病院)、長谷川至(な
かざわ整形ホスピタル)、笹館美佳子(県立さわらび園)、長谷川牧子(自宅)、中村正直(むつ川
リハビリテーション病院)、川崎一(南郷メディカルプラザ)、相馬美佳子(自宅)、林学(介護老人保健施設えぼ
し)、横山恵里(県立あすなろ学園)、浅田恵(むつ川リハビリテーション病院)、桜田由紀子(老健施設ハー
トランド)、吉田奈緒子(青森南老健施設甲田苑)

転出会員(5名)

荒川昌子(大浜第一病院)、間所昌嗣(石川県済生会金沢病院)、武田輝也(宮城県障害者更生相談
所)、和久井鉄城、松谷綾子(兵庫)

休会新規会員(2名)

野宮育美、阿部亜希

以上、17年5月7日現在(敬称略、順不同)

【財務部通信】

《16度会費未納者へ》

2名の方が未納です。心当たり方は早めに振り込んで下さい。

《17年度会費納入について》

会費自動引き落とし者へ

平成17年度の自動引き落としが 5月27日(金)に行われました。通帳を確認し、引き落としされな
った方は下記に振り込みして下さい。

会費自動引き落とし以外者へ

会費納入方法は下記の通りです。早めに振り込んで下さい。

士会費 12,000 円の振込先 振込み手数料 210 円

みちのく銀行 黒石支店 店番 024 口座番号 0117013

名義名 青森県理学療法士会 代表者 佐藤 洋

協会費 11,000 円の振込先 振込み手数料 120 円

郵便振替で 口座番号 00130-3-78642

加入者名 社団法人 日本理学療法士協会

通信欄に

記入例 [平成17年度会費 1名分 佐藤洋 8692] 協会会員番号

と記入して下さい。払込人住所氏名は、施設名の住所氏名で結構です。

尚、領収証が必要な方は、下記へ御連絡下さい(昨年、連絡を下さった施設には入金を確認できれ
ば送付します)。また、どうしても6月15日まで納入できない人は、自動引き落としにして下さい
(振込手数料無料、公共料金と同じく忘れなくて済む)。連絡を下されば引き落としの申込書を送ら
せて頂きます。どうぞ御協力お願いします。

不明な点は 国立青森病院 リハビリテーション科
佐藤 洋

TEL 0172-62-4055(271)

【ニュース編集部通信】

今回の原稿締切は、平成17年7月26日(火曜日)です。
原稿を依頼された方、もしくは掲載記事をお持ちの方は、次頁の各支部担当に
フロッピーディスク、FAX、E-mailのいずれかにて、送付して下さい。

青森県士会ホームページアドレス

<http://www.aa.alpha-net.ne.jp/ptaomori/>

§ ニュース編集部支部担当者 §

東青・むつ下北：工藤 寛教（あおもり協立病院）

〒030-0847 青森市東大野2丁目1番地10号 TEL 017-762-5500 FAX017-729-3260

E-mail: celeste_urg1@mail.goo.ne.jp

(電話・FAXは病院、メールアドレスは工藤先生個人のもので、ご注意ください。)

三八・上十三：川口 恵理（シルバー病院）

〒039-1161 八戸市河原木字八太郎山10-444 TEL 0178-28-4000 FAX 0178-20-4962

E-mail: ptsilver4000@yahoo.co.jp

(リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要)

中弘南黒・西北五：藤田 俊文（黎明郷リハビリテーション病院）

〒038-0194 南津軽郡碓ヶ関村碓ヶ関字湯向川添30 TEL 0172-45-2231 FAX 0172-45-2373

E-mail: reimeipt@h7.dion.ne.jp

(リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要)

事務局ニュース編集部長：梅村 孝博（東北メディカル学院）

〒039-1522 五戸町字苗代沢3-6 TEL 0178-61-0606 FAX 0178-61-0034

E-mail: pt.umemura@rinken.ac.jp

編集委員：伴 久美子（黒石病院）

工藤 寛教（あおもり協立病院）

藤田 俊文（黎明郷リハビリテーション病院）

川口 恵理（シルバー病院）

豊嶋 大輔（八戸城北病院）

加藤 義人（なかざわスポーツクリニック）

久保 稔（八戸整形外科クリニック）

外交局広報部（HP担当）：安田 友久（青森労災病院）

